

令和2年6月5日開催

災害対策特別委員会資料

指定避難所における感染症対策について	・・・・・・・・	1～2
福祉避難所における感染症対策について	・・・・・・・・	3～4
避難行動判定フロー	・・・・・・・・	別紙

防災危機管理部
福祉部

1. 指定避難所における感染症対策について

市町村が行う 4 つの感染症対策（新潟県通知）

- (1) 避難所以外への避難に関する周知
- (2) 避難者間の十分なスペースの確保
- (3) 衛生環境の確保
- (4) 発熱などの症状が出た人への対応

具体的な市の対応

(1) 避難所以外への避難に関する周知

① 周知内容

- 災害が迫った時には、迷わず避難行動をとることが大切。しかし、大勢の人が避難所に行くことによって、感染症への感染リスクが高まる恐れがあること
- 避難とは「難」を「避」けること。あらかじめハザードマップで自宅周辺の災害リスクを確認し、「自宅での避難（2階等への垂直避難）」、「近くの高台や頑丈な建物への避難」、「親戚や知人宅への避難」も検討
- 避難の際には、体温計やマスク、消毒液などを持参（別紙参照）

② 周知方法

- 広報上越やホームページ、エフエム上越など

※ 感染症が発生しているときの避難のポイント、避難所での感染症対策もあわせて周知

(2) 避難者間の十分なスペースの確保

- 地域防災計画での最大避難者数（人口の1割：約19,000人）の避難を想定
- 市内128の指定避難所ごとに、想定される避難者同士が間隔を空けて避難できるよう、これまで避難スペースとしていた体育館等に加え、教室や会議室などを避難スペースとして確保（施設管理者と協議中）

(3) 衛生環境の確保

- 避難所内の定期的な消毒・換気の実施
- 避難者の手洗いや手指の消毒徹底、マスクの着用などの励行
- 避難者同士の間隔の確保、避難者同士が向き合わないよう注意

- 消毒液やマスク、ビニール手袋などの衛生用品の配備

<指定避難所の衛生用品等>

- ・消毒液、マスク、ビニール手袋、ウェットティッシュ、滅菌ガーゼ、電子体温計、間仕切り、段ボールベッド など
- ※ 非接触型体温計（新規）のほか、消毒液、マスクなどを追加で配備予定

(4) 発熱などの症状が出た人への対応

① 健康確認の実施

- 避難所への到着時における健康確認の徹底
- 保健師巡回による健康確認の実施

② 発熱症状や体調が悪い人が確認された際の専用スペースの確保

(その他)

① 避難所初動対応職員向けマニュアルの作成

- 感染症対策マニュアルの作成と職員研修の実施

② 避難所運営体制の構築

- 職員を増員して対応する体制を確保
- 避難者等の運営参加（清掃、消毒など）

新潟県が行う市町村への支援

- (1) 指定避難所以外の避難先を確保（ホテルや旅館、県立学校など）
- (2) 間仕切りや簡易ベッドなどの大型の感染防止用資機材の確保と支援
- (3) 発熱等の症状が出た場合の相談・対応
- (4) 応援職員（避難所対応、医療等の専門職など）の派遣

福祉避難所の概要について

■福祉避難所とは

福祉避難所とは、災害時に体育館など一般の避難所での避難生活が困難な高齢者や障害のある人など、特別な配慮を必要とする人が安心して避難できるように開設される避難所です。市と協定を結んだ社会福祉法人等の協力を得て、高齢者福祉施設や障害者福祉施設が指定されています。

(※避難のイメージは右図のとおり)

■指定施設数（令和2年5月末現在）

102 施設（40 法人）

うち、高齢者施設 78 施設

障害者施設 24 施設

■避難対象者数（令和2年4月1日現在）

434 人（高齢者 251 人、障害者 183 人）

区分	高齢者	障害者
対象	要介護4・5のうち ・独居又は高齢者のみ世帯の人 ・医療が必要な人	・身体障害1・2級 ・療育A ・精神1級のうち支援区分5・6 ・多動、自閉症等

■福祉避難所の運営体制

<開設基準>

- ・市内で震度5弱以上を観測した場合 … 開設
- ・震度4以下の地震やその他の災害の場合 … 状況により開設

<市との連携体制>

- ・避難所を開設する際、各施設に市職員（連絡調整員）を派遣し、福祉避難所と災害対策本部との連絡調整を担います。なお、避難者の介助は施設職員が担います。

■避難対象者の登録

福祉避難所への避難が指定された方について、個々の身体状況や緊急連絡先等を記録した「個別避難計画」を市が作成し、避難先となる福祉避難所（施設）、町内会長、民生委員と情報を共有しています。

■災害備蓄品の配備

- ・福祉避難所ごとの避難対象者及び介助者の3日間分の食糧及び生活用品と資機材を配備。
- ・現時点で避難対象者がいない施設へは、避難対象者と介助者1人分ずつの備蓄品を配備。

避難のイメージ

